

令和2年度

事業報告書

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

公益財団法人 政策医療振興財団

I 事業概要

本財団は、国民保健の円滑な実施に資するため、国の医療政策として行う医療（以下「政策医療」という。）に関し、研究の助成等を通じ、その振興を図るとともに、あわせて政策医療を担う人材の福祉の増進に寄与することを目的として設立された財団であり、令和2年度の事業概要は、次のとおりであった。

1 公益事業

(1) 研究助成・国際会議等出席支援事業

ア. 研究助成事業

政策医療に関する研究の向上を図り、あわせて政策医療の効果的かつ効率的な推進に資することを目的に、政策医療に取り組んでいる看護師及びコメディカル部門の研究者に対し、研究費の助成を行った。

助成の対象は、薬剤、診療放射線、臨床検査、栄養、看護、看護教育及び事務等の各部門を中心に政策医療の振興及び患者サービスの向上に資する目的の研究に助成を行った。

イ. 国際会議等出席支援事業

がん、循環器病、精神・神経疾患、成育医療、国際的な感染症等の政策医療に関する診断治療、調査研究について実績が高く評価され、その専門分野において施設を代表し、研究成果の発表、討議、施設調査並びに国際学術会議等に参加する者に対し、旅費の助成を決定したが、新型コロナウイルス感染症流行により、決定された全国際会議が中止となり、助成は行われなかった。

(2) 出版普及事業

ア. 医療の広場

国立ハンセン病療養所、国立研究開発法人国立高度専門医療研究センター及び独立行政法人国立病院機構等を結ぶ機関誌「医療の広場」は、掲載内容等も従来からの研究活動や学会発表による業績紹介に留まらず、国の政策医療情報などの情報発信、また、医療施設や社会福祉施設間を結ぶ情報誌として施設の活動状況、各業務への取り組み状況を発信する場としての誌面づくりを行った。

イ. 外国人用診療ガイド

全国の医療機関でも悩みとなっている多国間言語について、英語、ハンダ語、中国語、フィリピン語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、インドネシア語、ベトナム語、タイ語、フランス語、ロシア語の12カ国語を掲載した、救急患者窓口や初診受付窓口で指さし表示による受診が可能なガイド冊誌(改訂二版)を、救急医療施設のみならず個人病院、クリニック、公的病院等に、1冊2,630円で提供した。

(3) ボランティア支援事業

政策医療の振興に資するため、社会福祉法人や国立病院機構等医療機関等において、施設からの申請に基づき、重度心身障害児(者)及び筋ジストロフィー児(者)並びに20床以上の緩和ケア病棟を有する施設に対し、療養環境におけるサービス等に対する支援を行うために必要なボランティア活動費及びボランティア受け入れのための環境整備費に対して助成を行った。

2 収 益 事 業

医療関連監修事業

各医療機関においては患者サービスの向上の観点から、病院・クリニックの待合室や外来待合時間に、テレビ放映などを行っている。そのテレビ放映と同様にテレビ掲示板(電光掲示板)でその日の診療案内や医療に関連した各種情報を提供しているが、当財団は、患者サービスの質的向上に貢献するため、そのコンテンツを監修し保健医療に対する啓もう、普及を引き続き行った。

Ⅱ 総務報告

1. 理事会の開催

(1) 令和2年第2回理事会

理事会の決議があったとみなされた日 令和2年6月10日(水)

同意 11人(理事9人、監事2人)

議題

- 1) 令和元年度事業報告及び決算報告の件
- 2) 令和2年度研究助成事業・国際会議等出席支援事業にかかる助成金支給対象者決定の承認及びボランティア活動支援事業にかかる助成金支給施設の報告の件
- 3) 謝金等規程の監事監査に係わる謝金単価の改定及び規程の整備の件
- 4) 事務局長採用承認の件
- 5) 評議員会の開催日の件

(2) 令和2年第3回理事会

理事会の決議があったとみなされた日 令和2年6月26日(金)

同意 11人(理事9人、監事2人)

議題

- 1) 代表理事及び業務執行理事選任の件
- 2) 基本財産処分の報告の件

(3) 令和3年第1回理事会

理事会の決議があったとみなされた日 令和3年3月18日(木)

同意 10人(理事8人、監事2人)

議題

- 1) 令和3年度事業計画の件
- 2) 令和3年度収支予算の件

2. 評議員会の開催

(1) 令和2年第1回評議員会

評議員会の決議があったとみなされた日 令和2年6月26日(金)

同意 9人

議題

- 1) 令和元年度事業報告の件
- 2) 令和元年度決算報告の件
- 3) 基本財産処分の件
- 4) 理事選任の件
- 5) 監事選任の件
- 6) 評議員選任の件
- 7) 事務局長採用の報告の件

Ⅲ 事業報告

1. 研究助成事業

令和2年度の研究助成事業については、次の6部門から49課題の応募があった。

薬剤部門	11課題
診療放射線部門	9課題
臨床検査部門	3課題
栄養部門	3課題
看護・看護教育部門	13課題
医療社会事業等	10課題

研究助成金選考委員会による書面審査を基に、次の22課題を令和2年度の研究助成事業として決定し、助成した。

薬剤部門	6課題
診療放射線部門	1課題
臨床検査部門	1課題
栄養部門	1課題
看護・看護教育部門	6課題
医療社会事業等	7課題

なお、令和元年度の研究助成事業については、29課題の研究成果を令和元年度研究助成事業報告書として取りまとめ、関係各医療機関あて送付した。

令和2年度研究助成金選考委員会

委員長	埜中	征哉	(独)医薬品医療機器総合機構
委員	大澤	繁男	前鎌倉女子大学家政学部管理栄養学科
委員	小宅	比佐子	前国立精神・神経医療研究センター
委員	大塚	次男	(株)QHQ 読影センター
委員	木下	忠雄	前西武学園医学技術専門学校
委員	関口	久紀	前(社)日本病院薬剤師会
委員	濱本	洋子	前(独)国立国際医療研究センター国立看護大学校

2. 国際会議等出席支援事業

令和2年度の国際会議等出席支援事業については、7件の応募があった。

国際会議等出席支援助成者選考委員による書面審査を基に、6件を令和2年度の国際会議等出席支援事業として決定したが、新型コロナウイルス感染症流行のため、決定された全国際会議が中止となり、助成は行われなかった。

令和2年度国際会議等出席支援事業選考委員会

委員長	毛利	昌史	(特医)大坪会東和病院
委員	金澤	紀雄	前(独)国立病院機構高崎総合医療センター
委員	高橋	俊毅	前横浜市病院経営局
委員	西牟田	敏之	前(独)国立病院機構下志津病院
委員	埜中	征哉	(独)医薬品医療機器総合機構
委員	矢野	真	日本赤十字社

3. 出版事業

(1) 医療の広場

機関誌「医療の広場」を国の医療政策として行う医療情報の提供並びに国立ハンセン病療養所、国立研究開発法人国立高度専門医療研究センター及び独立行政法人国立病院機構における研究活動、各種学会発表による業績の紹介、患者サービスや感染症に対する改善事例等を医療関係者に情報提供誌として発行した。

(2) 外国人用診療ガイド

12カ国語を掲載した外国人用診療ガイドの改訂二版を、医療機関のみならず行政機関等を含め1冊 2,630 円で提供した。

4. ボランティア支援事業

患者の療養環境におけるサービス等に対する支援を行うため、ボランティアの受け入れ体制が整備され継続的にボランティア活動が行われている施設に、その活動に関して生じる経費及び受け入れに伴う環境整備のための経費を支援した。令和2年度においては、重症心身障害児(者)施設、進行性筋ジストロフィ施設50施設、緩和ケア病棟60施設の合計110施設に対して、1施設8万円程度の支援を行った。

5. 医療関連監修事業

医療機関における患者サービスの一環として、テレビ掲示板により外来待ち時間を利用した医療情報の提供を行っているが、同時に健康講座等の情報なども提供している。当財団では、患者サービスの質的向上に貢献するため、幅広い分野にわたり、個人の健康、疾病に関するコンテンツを監修し、保健医療に対する啓もう、普及に努めた。